



ヘルスケア キャンペーン

協会けんぽの取り組み

欧米の先行研究では、アブセンティーイズム(病欠・休暇)に対して、プレゼンティーイズム(出勤しているものの、病気やけがによって生産性が落ちている状態)が健康コストの6割を占めると報告されている。心身ともに健康な場合に発揮できる能力を100とすると、病気などによって本来の7割しか力を発揮できないとしたら、3割生産性が落ちていることになる。プレゼンティーイズムは、この生産性の低下を一定の手法で金銭換算したものだ。

逆に言えば、生産性を向上させ企業業績を伸ばすためには、直接的なコストはもちろんだが、従業員の生産性低下の原因となっている健康問題という課題に対して何らかの対策を講ずる必要があるということだ。

企業が従業員の健康に配慮することによって、経

営面においても大きな成果が期待できるという視点から健康管理を戦略的に実践していくのが、昨今、浸透しつつある健康経営だ。

こうした中、全国健康保険協会群馬支部(以下、協会けんぽ)では、中小企業の健康経営をサポートすべく4月から「生き生き健康事業所宣言」をスタートさせた。

健康事業所宣言を行うには、協会けんぽが用意するエントリーシートに必要なことを記入し、提出する。健康診断の実施、社員のメタボ改善のため協会保健師・管理栄養士による無料支援の利用など3項目のベースプランに加え、オリジナルプランを最低1項目選択する。

加入者・事業者には、いくつかのメリットがあるので紹介したい。宣言証を贈呈するとともに企業名をホームページなどに掲載するので、企業のイメージアップにつながるだろう。

希望する企業には活動量計を1週間ほど貸与す

る。期間が終わると、1日当たりの平均歩数や早歩き歩数、保健師からの一言アドバイスに加え、年代ごとの平均歩数、歩数ごとの予防できる病気などの参考資料を配布する。社員全員のために購入を考える企業もあり、「健康づくりの指標になる」と好評だ。また、今年度は35歳未満の若年層向けの簡易血液検査が1人500円(本来4980円)で受けられる事業も実施した。

さらに、従業員向けに健康セミナーの講師派遣を行っている。支部保健師や管理栄養士が出向き健康づくりや栄養などに関するセミナーを開く。各企業の健康課題ごとにテーマを独自に設定して行うことも可能だ。健康づくりは若いうちから行うことが重要と考え、新入社員向けにセミナーを実施したり、数多い下請け企業の従業員も巻き込んで実施したりする例もある。積極的に活用しない手はないだろう。

一方、宣言企業・従業員へのインセンティブとして、各金融機関と提携した、事業資金や個人ローン

の金利優遇がある。事業資金の金利優遇を実施しているのは、群馬銀行。個人ローンの金利優遇は、群馬銀行、東和銀行、高崎信用金庫、アイオー信用金庫、利根郡信用金庫、館林信用金庫、北群馬信用金庫、あかぎ信用組合、群馬県信用組合で受けられる。

10月末現在、96事業所が健康事業所宣言を行い、8,893人が取り組んでいる。協会けんぽでは、今年度中に200事業所を目標としている。今後、積極的な健康づくりを行っている事業者の表彰制度なども構築していく予定だ。

群馬県の健康寿命は全国トップクラスだが、平均寿命は下位に甘んじ、治療せず放置している重症高血圧患者が多いなど、健康リスクは少なくない。協会けんぽでは、加入企業に対し、生活習慣病リスクに関して全国平均、県平均、同業態平均などと自社平均を比較できるカルテを作成している。まずは、自社の健康状況を把握し、協会けんぽのサポートを得て健康経営への第一歩を踏み出したい。

生き生き健康事業所宣言 提携金融機関

事業資金の金利優遇

群馬銀行

個人ローンの金利優遇

群馬銀行、東和銀行、高崎信用金庫、アイオー信用金庫、利根郡信用金庫、館林信用金庫、北群馬信用金庫、あかぎ信用組合、群馬県信用組合

わたしたちは、
ヘルスケアキャンペーンに参画しています。

主催 上毛新聞社

共催 群馬県、全国健康保険協会 群馬支部

後援 群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、群馬県中小企業団体中央会、群馬県医師会

特別協賛 アクサ生命保険株式会社

協賛 公益財団法人 群馬県健康づくり財団、群馬トヨタ自動車株式会社、群馬トヨペット株式会社、株式会社榛名湖温泉ゆうすげ、医療法人社団三思会 東邦病院、群馬ヤクルト販売株式会社、NEC、株式会社メモリード (順不同)